

新温泉町ころといのちを支える地域づくり事業【兵庫県新温泉町】

(実施期間) 平成23年度～平成24年度	(基金事業メニュー) 人材養成事業
(実施経費) 平成23年度(町) 60千円	(実施主体) 兵庫県新温泉町
(県) 900千円	
平成24年度(町) 60千円	

【事業の背景・必要性・目的】

当町では平成18年～平成20年の自殺率が兵庫県下で最も高く、高齢者の孤立死が続くなどの問題が顕在化してきたことから、高齢者等の孤立を防止し、安心して生活をするための地域づくりを進めることを目的に平成23年度に県実施の「高齢者のこころの健康支援事業」のモデル地区として学生キャラバン隊を活用した地域づくりに取り組み、モデル事業終了後も継続して住民主体の活動を支援している。

(※) 学生キャラバン隊とは

研究主体と対象を厳密に分けるのではなく、対象とともに問題を探り出し、問題解決に向けた活動を行うために、学生が主体となって地域に働きかける「学生キャラバン隊」を発足し、住民への訪問インタビュー、地域住民との交流、生活健康調査等に取り組む。

(関西国際大学学生キャラバン隊)

【地域の特徴・自殺者数の動向】

□地域の環境等

当町は兵庫県の最北西部に位置し、西は鳥取県、北は日本海に面している。人口は約1万6千人、高齢化率は31.7%と高齢化のすすんでいる町である。旧浜坂町と旧温泉町が平成17年10月1日合併し「新温泉町」となった。

特産品としては松葉ガニや但馬牛が有名である。

県のモデル事業に取り組んだ居組地域は、県の最北西部に位置し、鳥取市には車で30分の位置にあり、JR山陰本線居組駅が最寄り駅である。また、日本海の海面変動や地殻変動によって形成された多彩な海岸地形など、貴重な地形・地質遺産を数多く観察することができる「山陰ジオパーク」と「山陰海岸国立公園」の圏域内に位置している。

平成始めまでは漁師まちとして栄えていた地域であるが、高齢化の進展とともに漁業が衰退し、地域の活気にもかげりがでてきた。海を祭る伝統的な行事もある。

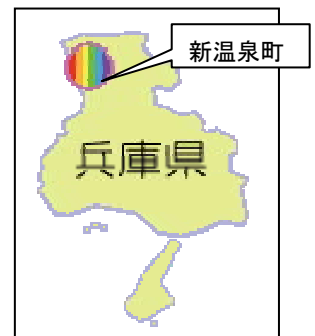
□人口

〔新温泉町〕

新温泉町	年齢3区分別人口割合		
	年少(0～15歳)	生産(15～64歳)	老年(65歳以上)
総人口			
16,406	11.7%	56.6%	31.7%

〔居組地区〕

居組地区 (H23.2.1)	人口 633人
65歳以上人口	254人 (40.1%)
75歳以上人口	153人 (24.1%)
一人暮らし高齢者	54人 (8.5%)



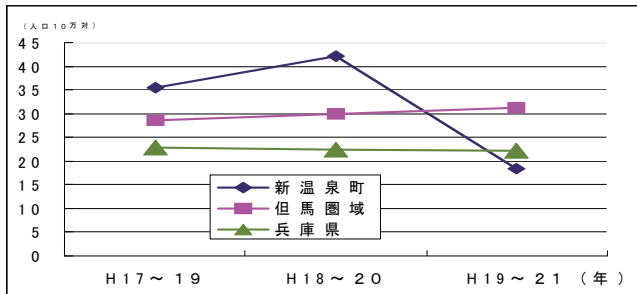
出典：平成24年4月1日現在新温泉町住民記録台帳

□ 自殺死亡動向

平成 18～20 年において、当町の自殺者が増え、県下 41 市町の中で自殺率が最も高くなり、自殺対策が喫緊の課題であった。

また、高齢化率も県平均よりも高く、年々、一人暮らし高齢者の率も高くなっている。

特に、今回の対象モデル地域の居組は、高齢化率、一人暮らし高齢者率が、町平均よりも高い。



兵庫県、但馬圏域、新温泉町の自殺率の推移

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
新温泉町	46.4	41.4	36.1	18.4	12.5	25.4
但馬圏域	25.3	34.2	31.4	31.2	23.3	24.1
兵庫県	21.8	23.7	21.9	22.9	22.5	22.5

【事業内容】

1) 平成 23 年度の取り組み

県のモデル事業として、関西国際大学の学生キャラバン隊を受け入れた。学生による高齢者の家庭訪問、地域づくりへの提案などモデル事業として実施した事と、それ以外に学生を受け入れるための事前打合せ、講演会、町独自の事業を年間通じて実施した。モデル事業には学生だけでなく地区からの発信もプログラムに取り入れ、住民が主体的に取り組めるよう工夫した。またすべてのプログラムに話し合いを取り入れ住民が意見を言えるように配慮した。結果、区長を筆頭に地区として、安心して暮らせる地域づくりへの意識が高まった。

①地区住民との打合せ会（事前説明会）平成 23 年 2 月 25 日、5 月 6 日

参加者：居組地区役員 14 人（区長、町内会長 7 人、すこやかクラブ役員（老人クラブ）5 人、民生委員 2、スポーツ 21 クラブ代表）
居組駐在所、社会福祉協議会、豊岡健康福祉事務所、町社会教育課、町福祉課、町健康課

②学生キャラバンにかかる地区役員との打合せ 平成 23 年 6 月 30 日

参加者：居組地区役員 6 名 豊岡健康福祉事務所 町健康課



地区住民との打合せ

③ ころの健康づくりミニ講演会（モデル事業事前説明会） 平成23年6月4日（土）

参加者：地区住民 51人

内容：講演「ころといのちを支える地域づくり」関西国際大学 渡邊直樹教授
モデル事業についての説明 新温泉町 健康課 西垣課長補佐



ミニ講演会

④ 学生キャラバンによるタウンミーティング（2泊3日）平成23年9月6日～8日

参加者：関西国際大学 34人（学生27人、アシスタント4人、教員3人）

内容：①事業説明とインタビュー者との顔合わせ 住民28人

②地区の視察（住民による案内）

③高齢者へのインタビュー 住民26人

④運動教室 地区住民 30人

⑤地区視察とインタビュー結果報告 住民26人



地区の視察



運動教室

2日間で感じたことや学んだことを報告し、2月の報告会での再開を約束して終了した。

⑤ 事業報告会打合せ会 平成24年1月30日

参加者：区長、すこやかクラブ役員、豊岡健康福祉事務所、町健康課

⑥ ころといのちを支える事業報告会 平成24年2月24日

参加者：地区住民 28人、県いのち対策室、豊岡健康福祉事務所、
社会福祉協議会、町地域包括支援センター・社会教育課
企画課・健康課、次回モデル事業実施町関係職員

内容：①講演「安心して暮らせる地域づくりの提案」

関西国際大学 渡邊直樹教授、大学院生

②「安心して暮らせる地域づくりの提案」関西国際大学 学生、
居組地区すこやかクラブ会長

③座談会「みんなで話そう 居組のあした」

～つながり・支え合うために自分たちにできること～

～地区の活性化のために自分たちに出来ること～



区長さんあいさつ



学生、住民からの提言

⑦ 県モデル事業以外の町実施の事業

当初モデル事業を実施するにあたり、学生のために地区が協力するとのイメージをもたれた方もあった。この事業は町のころの健康づくりの一環であるという町のスタンスとして、年間通じて地区に健康教育等事業を実施した。

・介護予防 健康づくりのつどい 平成24年7月29日

参加者：地区住民 31人（区長、民生委員、すこやかクラブ会員等）

内容：講話「認知症予防と認知症になっても暮らせる地域づくり」「リズム体操」「脳元気ゲーム」
座談会「認知症予防に気をつけていること」

・一人暮らしのつどい 平成24年11月30日

「食事の話」、試食会、懇談会「一人暮らしで頑張れる元気の秘訣は、一人暮らしで困ることは」

・介護予防 健康づくりのつどい 平成25年1月30日

参加者：地区住民 24人（すこやかクラブ会員等）



座談会